

Schedule

3/24(Sat) Preliminary Rounds

3/25(Sun) Break Rounds

Venue

Day 1 ICU High School

Day 2 National Olympics Center

第7回 日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯 全国大会

HPDU Competition 2018



主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟 (HPDU of Japan)

会場：3月24日(土) 国際基督教大学高等学校 (International Christian University High School)

3月25日(日) 国立オリンピック記念青少年総合センター (National Olympics Memorial Youth Center)

後援：文部科学省 (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology)

ブリティッシュ・カウンスル (British Council)

協賛：公益財団法人 日本英語検定協会 (Eiken Foundation of Japan)

一般社団法人 日本英語交流連盟 (The English-Speaking Union of Japan)

有限責任 あずさ監査法人 (KPMG AZSA LLC)

iae グローバルジャパン株式会社 (iae GLOBAL JAPAN, Inc.)

ANA ホールディングス株式会社 (ANA HOLDINGS INC.)

メディアパートナー：読売新聞社 (THE YOMIURI SHIMBUN)

協力：EduLab 株式会社 (EduLab, Inc.), エイムネクスト株式会社 (AIMNEXT Inc.),

日本フィルハーモニー交響楽団 (Japan Philharmonic Orchestra), 油井アソシエイツ株式会社 (YUI ASSOCIATES, Inc.)

◆ 関係団体 - Organizers & Supporting Organizations -

主 催 一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟 (HPDU of Japan)

後 援 文部科学省 (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology)
ブリティッシュ・カウンシル (British Council)

協 賛 有限責任 あずさ監査法人 (KPMG AZSA LLC)
公益財団法人 日本英語検定協会 (Eiken Foundation of Japan)
一般社団法人 日本英語交流連盟 (The English-Speaking Union of Japan)
iae グローバルジャパン株式会社 (iae GLOBAL JAPAN, Inc)
ANA ホールディングス株式会社 (ANA HOLDINGS INC.)

メディアパートナー 読売新聞社 (THE YOMIURI SHIMBUN)

協 力 株式会社E d u L a b (EduLab, Inc.)
エイムネクスト株式会社 (AIMNEXT Inc)
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 (Japan Philharmonic Orchestra)
油井アソシエイツ株式会社 (YUI ASSOCIATES, Inc)

Message from Naoji YUI
Former President, Eiken Foundation of Japan
公益財団法人 日本英語検定協会 元会長 油井 直次

In 2016 the voting age was lowered from 20 to 18 marking a historic change in Japan's electoral system. Your responsibilities have increased and your voices count more than ever in shaping Japan's future. Debating skills will play an important role in helping you to analyze and decide which candidate or party you wish to support by carefully judging their arguments. You will need to think critically. Debating various kinds of motions will help you develop such skills.

The Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology is including debating in Japanese high school English courses to nurture young people who are capable of actively communicating on the global stage. Studying a wide range of topics is essential and debating about them will undoubtedly enhance your English communication skills. We hope that the experiences you acquire through these debates will broaden your perspectives and enable you to be active members of the global community.

Message from Sadaaki NUMATA
Chairman, The English-Speaking Union of Japan (ESUJ)
一般社団法人 日本英語交流連盟 会長 沼田 貞昭

When you use English on the international stage, you need to overcome the Japanese culture of shame that poses a psychological barrier to speaking out. Another factor, which has been given little attention in the English language teaching in Japan, is the need for "discourse". This encompasses the abilities to organize thoughts coherently, express them in words, and direct an exchange in the way you would like.

On the basis of our experience of promoting parliamentary debate in Japan for the past two decades, we at ESUJ feel that parliamentary debate is a most effective means of meeting these two needs and fostering the skills and the mindset required on the global stage. We highly appreciate the association that we have developed with HPDU since its first debate competition in 2012, and look forward to continuing and closer collaboration with HPDU in our common efforts to tap the potential of future global communicators among high school students.

Message from Mark Lucas

Director, iae GLOBAL

iae グローバル ディレクター マーク・ルーカス

On behalf of iae GLOBAL, I would like to commend and congratulate the organising committee of HPDU for encouraging and supporting this very special event. More importantly, I want to say how impressed we are with the commitment, courage and ability of the young Japanese school students who have worked so hard to achieve this level of public speaking and debate.

At iae GLOBAL, we believe that “Education is Life and Life is Education”. The greatest change to the world over the past century has been the growing access to education for more and more of the world’s population. Now, in the 21st century, global communication and understanding are the building blocks to creating a safe and prosperous planet. The skills and knowledge gained by participating students in HPDU Competition will help establish the next generation of global leaders.

Having helped more than a quarter of million young students follow their dream of a study abroad since 1992, iae GLOBAL is very honoured to be able to be a small part of this event. Congratulations to all those students who participated and may your future be bright and exciting.

全国大会優勝校持ち回りの優勝カップ 「HPDU杯」ができました！

この度、都道府県大会が本格的に開催されたことを記念して、有限責任あずさ監査法人様が持ち回りの優勝カップを寄贈してくださいました。高校生によるパラメンタリーディベート国内大会の最高峰に立ったチームに授与されるにふさわしい素晴らしいカップです。

そこに皆さんの学校名が入ったベナントをしっかりと結ぶことを目指して、最高のパフォーマンスをして下さい。



◆ 大会委員名簿 - Organizing Committee -

大会運営委員会 (HPDU 役員)	委員長	北原 隆志	渋谷教育学園渋谷中学高等学校 教諭 一般社団法人日本高校生パラメンタリーディベート連盟 理事長
	事務局長	古賀 記洋子	日本大学第一中学校・高等学校 教諭
	委 員	宇佐美 修	栄光学園中学校・高等学校 教諭
		尾花 美代子	埼玉県立伊奈総合学園高等学校 教諭
		小林 良裕	豊島岡女子学園中学高等学校 教諭
		前田 和	埼玉県立久喜北陽高等学校 教諭
		浜野 清澄	さいたま市立浦和高等学校 教諭
		西崎 真広	桐光学園中学校・高等学校 教諭
		天海 揚介	[OBOG 代表] 埼玉県立伊奈学園総合高等学校 卒業生

※日本高校生パラメンタリーディベート連盟の役員が本大会の運営委員を兼ねます。

顧問	名誉顧問	明石 康	公益財団法人 国際文化会館 理事長 一般社団法人 日本英語交流連盟 (ESUJ) 副会長 元国連事務次長
	名誉顧問	沼田 貞昭	一般社団法人 日本英語交流連盟 (ESUJ) 会長 元駐カナダ大使
	主顧問	岡田 真樹子	一般社団法人 日本英語交流連盟 (ESUJ) 常務理事 元山梨英和大学 人間文化学部人間文化学科 教授
	特別顧問	綾部 功	東海大学 文学部英語文化コミュニケーション学科 准教授
	特別顧問	中川 智皓	大阪府立大学 工学研究科 機械工学分野 助教

チーフコーチ	小野 暢思	<ul style="list-style-type: none"> ・2014 年 ESUJ 大学対抗ディベート大会優勝、2016 年 ESUJ 社会人英語ディベート大会優勝、2017 年第 20 回記念 ESUJ 英語ディベート大会優勝など、国内外の各種パラメンタリーディベート大会で優勝 25 回、ベストスピーカー賞 20 回受賞。 ・2015 年パラメンタリーディベート大学生世界大会 (World University Debating Championship) ESL 部門 Quarter Finalist、EFL 部門 4th Best Speaker
--------	-------	---

第7回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯 HPDU Competition 2018

□ 趣旨

即興型であるパラメンタリーディベートの試合を通して、高校生の総合的英語運用能力を伸ばし、時事問題への関心、理解を深め、参加者の交流を図る。

□ 日時・場所

1) 都道府県大会 2017年12月1日(金)～2018年2月18日(日)

※場所は各地域で決定し実施する

2) 全国大会予選(40チーム) 2018年3月24日(土) 9:00～17:00

国際基督大学高等学校 〒184-8503 東京都小金井市東町1-1-1

3) 全国大会決勝トーナメント(8チーム) 2018年3月25日(日) 9:00～17:00

オリンピック記念青少年総合センター 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

□ 内容

World School's Debating Championships(WSDC) Style (但し本大会用に修正を加えたもの) による即興型英語ディベート大会。1チーム3名、予選3試合(2、3試合目はパワーペアリング) 各チームの勝ち数と得点ポイントで、上位8チームを決め、決勝トーナメント。

□ 参加資格

日本高校生パラメンタリーディベート連盟に公式認定された各都道府県大会に参加し、出場権を獲得した高校生(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含む)。同一校のチームの参加とする。ただし、英会話スクールなど高等学校以外の団体は例外とする。

□ 参加申し込み／参加費

連盟公式ホームページ上 (<https://www.hpdu.jp/>) のフォームにて申し込み受付。

※1チームにつき 4000 円(登録チーム確定後に振込)

※2017年11月9日(木)19時まで

□ 各種教育奨励賞

1) あずさ監査法人賞：

優勝チームを英国で行われるディベートキャンプ Debate Academy 2018 へ派遣

※英国ESU主催 2018年7月29日(日)発～8月7日(火) 帰国(予定)

2) iae グローバルジャパン賞：

準優勝チームを豪州シドニー工科大学語学研修に派遣

2018年7月29日(日) 発～8月4日(土)

3) 日本英語検定協会賞：

予選ベストスピーカー賞受賞生徒、決勝トーナメント出場校に図書カードを贈呈

4) 日本フィルハーモニー交響楽団賞：

上位4チームにコンサートチケット、または音楽CDを贈呈

第7回 日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯 HPDU Competition 2018

国際基督教大学高等学校での開催おめでとうございます！

Best wishes for an enjoyable and successful competition!

日本英語交流連盟（The English-Speaking Union of Japan, ESUJ）は、日本の人たちが国際コミュニケーションの「道具」としての英語に慣れ親しむようになることを目的として1998年10月に創立された非営利のボランティア団体です。英国を中心とする世界的ネットワークであるEnglish-Speaking Union（ESU）の一員として、英語を使用するグローバルコミュニケーターの育成、講演会、懇親会、アウティング、そして日本からの意見発信などの活動を行っています。

創立以来の主要活動であるパラメンタリーディベートの普及については、毎年の大学対抗大会および社会人大会開催を通じてその輪が定着してきたことを踏まえて、高校生への一層の普及を目指してHPDUとの連携に重点を移して行きます。



The English-Speaking Union of Japan

一般社団法人 日本英語交流連盟

<http://www.esuj.gr.jp>

English-Speaking Union

Debate Academy



ENGLISH-SPEAKING UNION

HPDU 杯 優勝者教育奨励賞

English-Speaking Union(ESU)は1918年に英国で発足し今年100周年を迎えます。現在では世界約55カ国で、各国の事情やニーズに合わせてディベート、スピーチ大会、ドラマコンテスト、最近の国際情勢に関する講演会等、会員の交流と英語コミュニケーションのための多彩なプログラムを実施しています。

ESU Debate Academyは毎年7月下旬から8月上旬に英国で行われる5泊6日の高校生対象のサマースクールです。英国、ヨーロッパ、そして世界ディベート大会で活躍した経験豊富なディベートメンターからディベートの指導を受けます。レベル別少人数クラスでパラメンタリーディベートの練習を行い、個別指導やフィードバックによってディベートスキルをさらに高めることができます。HPDU 連盟杯優勝者の皆様は、世界各地から参加する高校生とのディベートを通し、友好を深める貴重な機会になるでしょう。



HPDU 杯優勝者教育奨励賞

<2018 年あずさ監査法人賞>

2018 年 HPDU 杯の優勝チームを English-Speaking Union (ESU) 主催の Debate Academy へ派遣します。

ESU は 1918 年に英国で設立され、英国女王エリザベス II 世をパトロンとする 英国王室認可の教育チャリティー団体です。パブリックスピーキングとパラメンタリーディベートの指導において、最も長い歴史と権威のある団体です。(<https://www.esu.org>)



ESU Debate Academy 2018

ESU Debate Academy は 5 泊 6 日のサマーキャンプです。ロンドンから北に電車で約 70 分に位置する Uppingham School in Rutland (1584 年設立の伝統ある男女共学の寄宿学校) で開催されます。

少人数レベル別クラスでディベートの練習とディベートスキル向上トレーニングを行い、経験豊富なディベーターによるディベートトピックスのレクチャーや個別指導、フィードバックを受けます。World Schools format の練習も行います。

英国で楽しい一夏を過ごしながらディベート力を高め、世界各地から参加する高校生ディベーターとの友好を深める絶好の機会です！

*** 渡航期間：2018 年 7 月 29 日(日)日本発～8 月 6 日(月) ロンドン発、7 日(火)日本着 (予定)**

*** Debate Academy 期間：7 月 30 日(月)～8 月 4 日(土)、8 月 5 日(日)はロンドン見学**

※第 7 回連盟杯の副賞「海外研修」について補足

- ☐ 優勝校には英国 Debate Academy、準優勝校には豪州シドニー工科大学で行われる研修に生徒 3 名と引率者 1 名を派遣する権利が進呈されます。
- ☐ 各研修に参加する生徒の数は 3 名全員でなく、1～2 名でも構いません。
- ☐ 各研修に参加する生徒は同校の生徒で研修を受講する英語力があれば、大会で賞を獲得した選手でなくても構いません。
- ☐ 権利を獲得した学校は 3 月 31 日までに、研修に参加するか、あるいは辞退するかを本連盟のメールアドレス hpdujp@gmail.com に連絡してください。参加を表明された学校はすみやかに参加承諾書を提出していただき、4 月上旬中にパスポートの取得、現地研修への参加登録などの手続きを行っていただきます。
- ☐ 優勝校が辞退した場合、英国 Debate Academy の権利は準優勝校に、豪州シドニー工科大学の権利は 3 位になった 2 チームのうち 3 月 24 日の全国大会予選における総合点が高かった学校に移ります。以下同様に権利が移って行きます。



HPDU 杯準優勝者教育奨励賞

<2018 年 iae GLOBAL Japan 賞>

2018 年 HPDU 杯の準優勝チームを、シドニー工科大学（University of Technology Sydney (UTS)）付属学校のインサーチ（Insearch）での 1 週間の語学研修に招待します。



シドニー工科大学 (UTS) はグローバルで革新的かつ実践的な教育を提供しています。研究大学として定評があり、大学院も含め 300 以上のプログラムを提供しており、4 万人以上の学生が日々学業に励んでいます。



アカデミック英語などの語学プログラムや UTS への編入プログラムを提供しています。また、UTS Insearch のディプロマプログラムを経て UTS の 2 年次へ編入いただけるオプションも提供しています。



< 語学研修カリキュラム (予定) >

Date	AM (9:00 – 1:00)	PM (2:00 – 4:00)
7 月 29 日 (日)	日本発 → シドニー着	
7 月 30 日 (月)	オリエンテーション 語学研修	UTS Insearch の学生との交流会 UTS + UTS Insearch キャンパスツアー シドニー市内観光
7 月 31 日 (火)	語学研修	シドニー市内観光
8 月 1 日 (水)	語学研修	UTS キャンパスツアー (科学部) UTS 図書館検索システムツアー
8 月 2 日 (木)	語学研修	UTS キャンパスツアー (情報・工学部) 記念撮影
8 月 3 日 (金)	語学研修	参加者によるプレゼンテーション 修了式&送迎会 自由時間
8 月 4 日 (土)	シドニー発 → 日本着 (8 月 5 日 (日))	

◆ 出場校・団体 - Participating Schools -

愛知県	愛知県立旭丘高等学校
愛知県	東海高等学校
愛知県	愛知県立千種高等学校
茨城県	茨城県立水戸第一高等学校
茨城県	茨城県立並木中等教育学校
埼玉県	埼玉県立伊奈学園総合高等学校
埼玉県	さいたま市立浦和高等学校
埼玉県	埼玉県立久喜北陽高等学校
鹿児島県	ラ・サール高等学校
神奈川県	神奈川県立厚木高等学校
神奈川県	桐光学園高等学校
神奈川県	洗足学園高等学校
神奈川県	神奈川県立相模原中等教育学校
神奈川県	栄光学園高等学校
神奈川県	浅野学園中学高等学校
神奈川県	聖光学院高等学校
神奈川県	青山学院横浜英和高等学校
神奈川県	神奈川県立湘南高等学校
神奈川県	慶應湘南藤沢高等学校
京都府	立命館宇治高等学校
静岡県	藤枝明誠中学高等学校
千葉県	翔凖高等学校
千葉県	千葉県立松戸国際高等学校
千葉県	渋谷教育学園幕張高等学校
長野県	長野県松本県ヶ丘高等学校
長野県	長野県松本深志高等学校
長野県	長野県屋代高等学校
東京都	国際基督教大学高等学校
東京都	東京都立両国高等学校
東京都	富士見高等学校
東京都	渋谷教育学園渋谷中学高等学校
東京都	豊島岡女子学園高等学校
東京都	筑波大学附属駒場高等学校
東京都	成蹊高等学校
東京都	東京学芸大学附属高等学校
栃木県	栃木県立佐野高等学校
栃木県	栃木県立宇都宮東高等学校
栃木県	栃木県立大田原高等学校
栃木県	栃木県立宇都宮高等学校
栃木県	栃木県立宇都宮女子高等学校

— 以上 40 校

◆ 大会日程 - Tournament Schedule -

3月24日(土) 第1日目 (予選)

9:00	受付 Reception
9:30	開会式 Opening Ceremony
10:00	第1試合の対戦表・論題発表 (準備時間 20 分) Match up & Motion Announcement
10:20	第1試合開始 (試合後ジャッジによる説明) Preliminary Round 1 & Oral Adjudication
11:30	昼食 Lunch Break
13:00	第2試合の対戦表・論題発表 (準備時間 20 分) Match up & Motion Announcement
13:20	第2試合開始 (試合後ジャッジによる説明) Preliminary Round 2 & Oral Adjudication
15:00	第3試合の対戦表・論題発表 (準備時間 20 分) Match up & Motion Announcement
15:20	第3試合開始 (試合後ジャッジによる説明はなし) Preliminary Round 3
16:30	決勝トーナメント進出チーム発表 Announcement of Breaking Teams

3月25日(日) 第2日目 (決勝トーナメント)

9:00	受付 Reception
9:20	準々決勝 対戦表・論題発表 (準備時間 25 分) Match up for Quarterfinals & Motion Announcement
9:45	準々決勝 試合開始 Quarter finals
11:00	準決勝 対戦表・論題発表 (準備時間 25 分) Match up for Semifinals & Motion Announcement
11:25	準決勝 試合開始 Semifinals
12:10	昼食 Lunch Break
13:35	決勝 対戦表・論題発表 (準備時間 25 分) Match up for Final & Motion Announcement
14:00	決勝 試合開始 Final
15:00	閉会式・表彰 Closing Ceremony

◆ 試合形式 - Debate Format -

[参加人数] 6人 (1チーム3人 × 2チーム)

【話す順番と役割】

Government Side	Opposition Side
<p style="text-align: center;">準備時間</p> <p style="text-align: center;">(論題発表から試合開始まで*20分 / 決勝トーナメントでは25分)</p>	
<p style="text-align: center;">Constructive Speech (各5分 / 決勝のみ各7分)</p>	
<p>◆ Prime Minister (PM)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 論題を確認し曖昧な語を定義し、何を政府側が立証するか説明 (2) 論題を肯定する大まかな理由の提示 (3) 試合で自分とメンバーとそれぞれ何を説明するか、アウトラインの提示 (4) 政府側の根拠を複数の議論に分け説明 	<p>◆ Leader of the Opposition (LO)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) PMの定義を確認し必要があれば再定義して野党側が何を否定するか説明 (2) いかなる理由から論題を否定するか、大まかに説明 (3) 試合で、自分とメンバーが何を説明するか、アウトラインを示します。 (4) 政府側が出した議論に対して反論 (5) 野党側の根拠を、複数の議論に分け説明
<p>◆ Deputy PM (DPM)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 野党側との立場の違いを大まかに説明 (2) 野党側の議論に対して反論 (3) 政府側の新しい議論を導入 (4) 野党側による反論に対して立て直し 	<p>◆ Deputy LO (DLO)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 政府側との立場の違いを大まかに説明 (2) 政府側の議論に対して反論 (3) 野党側の新しい議論を導入 (4) 肯定側による反論に対して立て直し
<p>◆ Government Whip (GW)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 試合を総括する観点の導入 (2) 野党側の議論全てに対し反論 (3) 反論された議論を全て立て直し 	<p>◆ Opposition Whip (OW)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 試合を総括する観点の導入 (2) 肯定側の議論全てに反論 (3) 反論された議論を立て直し
<p style="text-align: center;">Reply Speech (各4分)</p>	
<p>◆ Government Reply</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 試合を総括する観点の導入 (2) 与党側が試合に勝った理由の説明 	<p>◆ Opposition Reply</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 試合を総括する観点の導入 (2) 野党側が試合に勝った理由の説明

◆ 大会ルール - Tournament Rules -

以下は大会ルールの要旨です。ルールに関して判断が必要な場合は、大会運営委員長が最終的な判断を行います。

[出場登録について]

- ・ 同じ高校に在籍する生徒 3 名で 1 チームの登録となります。各試合ごとに、チーム内でのスピーチ役割は変更しても構いません。
- ・ 日本の高校に在籍している限り、海外経験や国籍などによる本大会への出場制限はありません。

[対戦組み合わせについて]

- ・ 第 1 試合の対戦組み合わせは事前にランダムで決められています。予選 2 試合目、3 試合目はパワーペアリングによって決められます。
- ・ 予選 3 試合の勝敗数、そして勝敗数が同じチーム間ではスピーカースコアの総得点で、予選の順位を決定します。勝敗数、スピーカースコアの総得点と同じであったチームがあった場合、対戦チームとのスピーカースコア総得点の点差が、累計でより大きかったチームを上位チームとします。
- ・ 上位 8 チームが決勝トーナメントに進出し、準々決勝では予選の成績が良かった順に 1～8 の番号を振り、以下の通りで対戦を行います。

[準々決勝 A] team 1 対 team 8 [準々決勝 B] team 2 対 team 7

[準々決勝 C] team 3 対 team 6 [準々決勝 D] team 4 対 team 5

[試合開始前の準備時間について]

- ・ 論題は、予選では試合開始の 20 分前に発表されます。論題発表後以降は、ディベーターはチームメイト以外と相談してはいけません（顧問とも相談してはいけません）。決勝トーナメントでは、準備時間は 25 分です。
- ・ 高価な道具を用意できたかどうかによって勝敗が左右されることがないように、論題発表以降は、ストップウォッチ、電子辞書専用機を除いた電子機器の使用は許されません。携帯電話やタブレット端末をストップウォッチの代わりに用いることも禁じます。

【スピーチの順番および時間（予選試合）】 *決勝の試合のみ Constructive Speech を各 7 分とします。

準備時間 20 分	
1) 1st Affirmative Speaker (5 分)	
	2) 1st Negative Speaker (5 分)
3) 2nd Affirmative Speaker (5 分)	
	4) 2nd Negative Speaker (5 分)
5) Government Whip (5 分)	
	6) Opposition Whip (5 分)
	7) Opposition Reply (4 分)
8) Government Reply (4 分)	

[試合の流れ]

- ・予選試合では、最初の 6 つのスピーチ(Constructive Speech)は各 5 分間、そして Reply speech は 4 分間となります。
- ・各 Constructive Speech の最初と最後の 30 秒間を除いた時間では、対戦相手のチームは Point of Information(POI)を行うことができます。POI がスピーカーから許可された場合、最長で 15 秒だけ話すことができます。POI を求める際には、まず必ず起立してください。
- ・Reply Speech は、チームの 1 人目または、2 人目のスピーカーのいずれかが行います。Whip Speaker が Reply speech を行うことは出来ません。
- ・あるスピーカーが、与えられた時間よりも短くスピーチを終えた場合は、時間の経過を待つことなく次のスピーカーのスピーチに移ります。あるスピーカーが 30 秒以上超過してスピーチを続けた場合、ジャッジが強制的にスピーチを終了させます。

[スピーカーの役割]

- ・各チーム最初の 2 人のスピーカーは、それぞれ肯定または否定側の議論を示し、また相手チームの議論に最低限の反論をします。
- ・3 人目の Whip speaker は、主に相手チームの議論への反論、そして反論された内容を受けての議論の立て直しを行います。
- ・Reply Speech では、どうして自分たちのチームがその試合で勝利したのか、いくつかの争点に絞って説明を行います。

[勝敗について]

- ・各試合では、勝敗と各スピーカーの個人得点が決められます。Constructive Speech では、75 を基準に上下 8 点の幅で各スピーチに得点が与えられます。Reply speech では、37.5 を基準に上下 4 点の幅で得点が与えられます。
- ・予選第 1 試合、第 2 試合ではジャッジが試合終了後に口頭で試合の勝敗とその理由を説明します。

Constructive Speeches (out of 100)

Standard	Overall
Excellent	82-83
Good	79-81
Above Average	76-78
Average	75
Below Average	72-74
Poor	69-71
Extremely Poor	67-68

Reply Speeches (out of 50)

Standard	Overall
Excellent	41 – 41.5
Good	39.5 – 40.5
Above Average	38 – 39
Average	37.5
Below Average	36 – 37
Poor	34.5 – 35.5
Extremely Poor	33.5 – 34

語学のコミュニケーション能力を示す国際標準規格

セファール

CEFRとは?

Common European Framework of Reference for Languages
(ヨーロッパ言語共通参照枠)の略。

語学シラバスや学習カリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のために開発された、透明性が高く分かりやすい評価基準。欧州域内では国によりCEFRのレベルを初等教育、中等教育を通じた目標として使用している。

日本国内でも英語外部検定試験のレベル比較に利用され、大学入試利用される英語外部検定試験のレベル設定に利用されている。日本での大学入試ではA2～B2レベルを求める大学が多くなっている。

資格・検定試験とCEFRとの対照表 (2017年3月現在)

CEFR	英検 (CSEスコア)	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT
C2		8.5-9.0			
C1	1級 (2630-3400)	7.0-8.0	400	800	95-120
B2	準1級 (2304-3000)	5.5-6.5	334-399	600-795	72-94
B1	2級 (1980-2600)	4.0-5.0	226-333	420-595	42-71
A2	準2級 (1728-2400)	3.0	150-225	235-415	
A1	3級～5級 (419-2200)	2.0			

「英語4技能試験情報サイト」より一部抜粋 http://4skills.eiken.or.jp/qualification/comparison_cefr.html

CEFRレベル表

熟練した 言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。
自立した 言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論を含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいいてい事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の 言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

(出典)ブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

英検

後援：文部科学省

TEAP
Test of English for Academic Purposes

IELTS™

英検

公益財団法人
日本英語検定協会

TEAPスコアが、大学入試に使える!

試験開催地を
(予定)
20都道府県
に拡大!

大学で必要とされるアカデミックな英語能力を4技能で判定

TEAP

Test of English for Academic Purposes

主なTEAP採用大学一覧 (2017年11月現在)

国公立大学
鹿児島大学・金沢大学・
九州工業大学・佐賀大学
筑波大学・広島大学 ほか

私立大学
青山学院大学・学習院大学・関西学院大学・関西大学・京都産業大学・甲南大学・上智大学・
中央大学・東京理科大学・南山大学・法政大学・明治大学・立教大学・立命館大学・
龍谷大学・早稲田大学 ほか (五十音順)

入試利用大学
急増中
120大学以上!

高校2年生から複数回受験できる!

2018年度 試験日程・申込期間

※コンビニ・郵便局ATM支払による申込は、試験申込締切日より約2週間前に締切ります。ご注意ください。詳しくはTEAPウェブサイトへ

第1回

第2回

第3回

試験日

7月22日(日)

9月16日(日)

11月18日(日)

お申し込み
期間

5月14日～6月28日※

7月9日～8月16日※

9月10日～10月25日※

TEAP CBT

Test of English for Academic Purposes
Computer-Based Test

グローバル×IT社会を牽引する思考力・判断力・表現力をリアルに測定する英語4技能を超えたテスト

2018年度 TEAP CBT 試験日程・申込期間 全国11会場にて開催予定

第1回

第2回

第3回

試験日

6月17日(日)

9月2日(日)

10月21日(日)

お申し込み
期間

4月16日～5月24日

6月25日～8月9日

8月13日～9月27日

最新情報はTEAPウェブサイトへ

TEAP、TEAP CBTともに
高校2年生から受けられます。

最新情報はTEAP ウェブサイト
をご覧ください。

TEAP

検索



英検

公益財団法人

日本英語検定協会

◆ 過去の大会の記録 - Results-

第1回大会 (2012年3月18日) 会場：埼玉県立伊奈学園総合高校

優勝：京都紫野高校 準優勝：さいたま市立浦和高校

論題：

Round 1	This house believes that students in elementary schools and junior high schools should be required to repeat a grade if their class performance is poor.
Round 2	This house would make voting at elections compulsory.
GF	This house would ban fortune-telling businesses.

第2回大会 (2013年3月23、24日) 会場：渋谷教育学園渋谷中学高等学校

優勝：宇都宮高校 準優勝：さいたま市立浦和高校

論題：

Round 1	This house would allow gifted students to skip grades in schools.
Round 2	This house would ban experiments on animals.
Round 3	This house believes that using the Internet in political election campaigns will do more harm than good.
QF	This house would use quotas to increase the representation of women in the Japanese parliament.
SF	This house would penalize media companies that broadcast the use of physical abuse (such as beating or kicking someone) as a form of humor.
GF	This house believes that the US federal government should ban the private use of firearms.

第3回大会 (2014年3月21、22日) 会場：代々木オリンピックセンター

優勝：国際基督教大学高校 準優勝：渋谷教育学園渋谷高校

論題：

Round 1	This House believes that parents should have the right to access all accounts of their children's social networking sites.
Round 2	This House would apply the retirement age to politicians.
Round 3	This House believes that the Tokyo Olympics venue should include the Tohoku/Fukushima area.
QF	This House would deny those who have made poor lifestyle choices and actively harmed themselves (fatty food, alcohol, smoking) the access to the national health insurance.
SF	This House believes that research institutions that actively employ female scientists should be given more research funding by the government.
GF	This House believes that Japan should not impose any sanctions on Russia regarding the Crimea issue.

第4回大会 (2015年3月14、15日) 会場：代々木オリンピックセンター

優勝：渋谷教育学園渋谷高校 準優勝：宇都宮高校

Round 1	This house would require all Internet users to use their real names.
Round 2	This house believes that gambling of all forms (e.g. lotteries, horse racing, or casinos) should be illegal.
Round 3	This house believes that governments should refuse to assist in rebuilding areas prone to natural disasters.
QF	This house would abolish death penalty.
SF	This house would provide welfare in the form of basic goods and services, rather than cash payments.
GF	This house believes that governments should negotiate with terrorists when their citizens are taken hostage by terrorist groups.

第5回大会 (2016年3月12、13日) 会場：代々木オリンピックセンター

優勝：宇都宮高校 準優勝: 洗足学園高校

Round 1	This house would require broadcasters to devote equal time and prominence to coverage of female sports games as male sports games.
Round 2	This house would pay all elected politicians the median wage in their electoral district.
Round 3	This house would allow prisoners to donate their organs in exchange for shortening of their sentences.
QF	This house believes that, upon request by the authority, smart phone companies should be forced to unlock their products used by criminals.
SF	This house believes that the EU should abandon its commitment to the principle of open borders between member states.
GF	This house believes that democratic countries should not attend sporting events in countries with bad human rights records.

第6回大会 (2017年3月19、20日) 会場：さいたま市立浦和高等学校

優勝：宇都宮高校 準優勝: 筑波大学附属駒場高校

Round 1	This house would ban alcohol.
Round 2	This house would abolish escalator system in schools (such as Keio, Waseda).
Round 3	This house would legalize organ transplant for profit.
QF	This house believes that US military bases should be removed from Japan.
SF	This house would abolish all laws restricting free speech.
GF	This house prefers a world without marriage.

グローバル市場で輝く人材になる

海外進学を通して身につける能力

海外経験者に求めるスキルとは

英語を流暢に話せる人、グローバル人材と思われがちですが、決してそうではありません。海外がより身近になった今、一歩外に出れば、英語だけではなく第二、第三ヶ国語を流暢に使い分ける人材を目にするのも多くなりました。

めまぐるしい状況の変化に対する適応性、さまざまな立場の人と円滑に仕事を進めるコミュニケーション能力、そして何より、物事への積極性とバイタリティー、これらが海外経験者に求められていると多くの企業の人事関係者は語ります。

では実際、このようなスキルを習得するにはどうしたらいいのでしょうか。一つの選択肢として挙げられるのが海外留学です。海外留学と聞くと、多くの人は語学力を高めるための手段と考えがちですが、海外進学を通して培われる能力は非常に幅広く、ハードスキルからソフトスキルまで多様です。

教科書からでは学べない！

海外進学を通して身につける能力

多くの先進国では、論理的で柔軟な思考力、即興性、問題定義力、問題解決力などの能力を育む教育カリキュラムが採用されており、それをアクティブラーニングと言います。

これらの国の大学や専門学校では、聴講型の講義はもちろんのこと、実際に起こった事象を用いた討論やプレゼンテーションを積極的に行う少人数制参加型授業（チュートリアル）もプログラムの環として取り入れています。講義で学習した内容を実社会で活かせるようテーマに沿い、より深く掘り下げた議論を行います。母国語ではない英語で国籍や文化的背景の異なる学生と議論することは、国籍や人種の枠組みを超えた、現実社会でのビジネスに活かされるでしょう。

また、留学生の多くが苦戦する課題の一つにエッセイ（小論文）があります。自分の意見や感想を述べる作文とは異なり、研究テーマに沿った仮説を提唱し、それを証明する事が求められます。文献や論文など膨大な情報やデータの中から正しい情報を見分け、参考文献として引用し自身の仮説を証明します。研究テーマは教授の助言の基、学生主体で決めることができます。自由度が高い分、常にクリティカルシンキング（批判的・客観的思想）を念頭に置き情報精査を心がける必要があります。この一連の過程を通して、自然と幅広い知識や教養が身に付き論理的思考力が養われるのは言うまでもありません。

海外へ進学することで、ここに挙げたような日本ではあまり経験できない教育を受け、技術を高めることができる他、生活面では、その土地の文化に触れることで、異文化・多文化理解を深め、自分のアイデンティティを確立することができます。

世界中が進学の選択肢です

グローバル環境での「適応性」「コミュニケーション能力」「バイタリティー」を養うべく、日本の教育機関の中にも、海外の教育機関で

取得した単位を移行できる制度を充実させている学校も数多くあります。

「何を目的に進学し、そこから何を学びたいのか」という事を明確にし、自分自身でチャンスをつかみ取れる環境に身を置く事が大切です。将来の可能性と選択肢を広げるためにも、現代の学生は一歩先を見据えた就学プランをデザインしていく必要があります。

私共 iae 留学ネットは、世界各国に700を超える教育機関、2000を超えるキャンパスとの提携を持っています。毎年1600人以上の留学生をサポートし、アジア最優秀エージェンツ賞を4度受賞いたしました。25年以上に亘り培ってきたノウハウで、数ある選択肢の中からあなたの可能性を最大限に引き出せる留学プランをご提案致します。

当社ホームページでは、留学に関するよくある質問を掲載しております。

Q 海外進学で必要な英語力は？

Q 日本の大学と海外大学、どちらに進学すべき？

Q 留学費用はどのくらいかかるの？

Q 海外大学卒業生は就職に不利になる？

など

英語力

コミュニケーション能力

発信力

異文化理解

グローバル人材

論理的思考

知識と柔軟性

グローバル社会が求める人材

iae留学ネットにおまかせください！

iae留学ネットでは語学学校から海外トップスクールへの進学まで、あらゆる留学を無料でサポートしています。

昨年の留学サポート実績

世界各国 700 校以上の教育機関と提携、毎年 16,000 人の留学サポート



カリフォルニア大学
アーバイン校 (アメリカ)
University of California
Irvine (US)

UCLA

カリフォルニア大学
ロサンゼルス校 (アメリカ)
University of California
Los Angeles (US)



ミシガン大学
(アメリカ)
University of Michigan
(US)



ニューヨーク州立大学
(アメリカ)
State University of
New York (US)



ブリティッシュ
コロンビア大学 (カナダ)
University of
British Columbia (Canada)



サセックス大学
(イギリス)
University of Sussex
(UK)

UNIVERSITY OF
EXETER

エクセター大学
(イギリス)
University of Exeter
(UK)



オーストラリア国立大学
(オーストラリア)
Australian National
University (Australia)
CANBERRA



クイーンズランド大学
(オーストラリア)
University of Queensland
(Australia)
ST. LOUIS



オーランド大学
(ニュージーランド)
University of Auckland
(New Zealand)

世界中の大学情報があります

検索されている学校の以外にも様々な大学、語学学校、ホームステイなど、すべての人に留学を成功させていただくためのプランをご用意しております。無料相談カウンセリング、メール・電話・LINE・Skypeでの無料相談、各種イベントやセミナーなども随時開催中です。



QRコードアクセスで
出願料無料!

南半球最大の経済都市シドニーで就職に強くなる!



CRICOS 00859D



CRICOS 00099F

シドニー工科大学(UTS)は、国際都市シドニーの中心地に位置し、グローバルで革新的かつ実践的な教育を提供しています。最新施設が整った都市型キャンパスを有し、グローバルに物事を捉え世界に通用するリーダー育成に注力しています。

UTSは研究大学として定評があり、大学院も含め300以上のプログラムで4万人以上の学生が学んでいます。

世界120カ国12,000人の留学生が集う国際色豊かな大学です。

語学プログラムやUTSへの編入プログラムを提供しています。ディプロマ・プログラム修了者はUTSの2年次へ編入可能です。

WORLD University Ranking

※創立50年未満の大学部門

No.8



海外大学を卒業した先輩達の声



H.K.さん(31歳)

地元の高校に国際教養学科が新設され入学したのをきっかけに、英語に真剣に向き合うようになりました。オーストラリアでは、大学卒業後、教育学修士も取得しました。卒業後の就職に備え、日本でも就職活動を行いました。海外で仕事をしたい思いが強かったためブリスベンにある企業の日本セクション担当に着任しました。その後、日本、中国、台湾、ラテンアメリカ、ベトナム、中東チームを取りまとめるインターナショナルマネージャーを任されましたが、文化的背景が異なるチームを統括するのに苦労しました。現在は、世界14カ国にオフィスを展開するグローバル企業の日本支社統括を行っています。オーストラリアでは非常に多くの事を学びましたが、留学という人生のターニングポイントがあったからこそ、今こうして国籍や文化の垣根を越えて仕事が出来ていると実感しています。

高校1年生の時にニュージーランドへ留学し、約10年間現地に滞在していました。高校卒業後は、現地の大学へ進学し言語学を学びました。卒業後は、学んだ事を活かしウェリントンにある語学学校へ就職しました。留学生ケア担当として、日々異なる国籍の生徒たちのサポートをする傍ら、マーケティングや法人営業も経験しました。日本帰国後は、ニュージーランド留学を通して培った語学力とユニークな経験・経歴を糧に外務省へ入省。外交官として、オセアニア地域の国との政治外交だけにとどまらず、人物・文化交流の発展にも従事しました。現在は、第二の故郷でもあるニュージーランドへの留学を普及するため、留学エージェントでカウンセラーとして働いています。今後、進学を控えている方は、諸外国の大学や高等教育機関も視野に入れてみてはいかがでしょうか。語学力以上に学べるのが山ほどあり、将来のキャリアオプションも格段に広がるはずですよ。

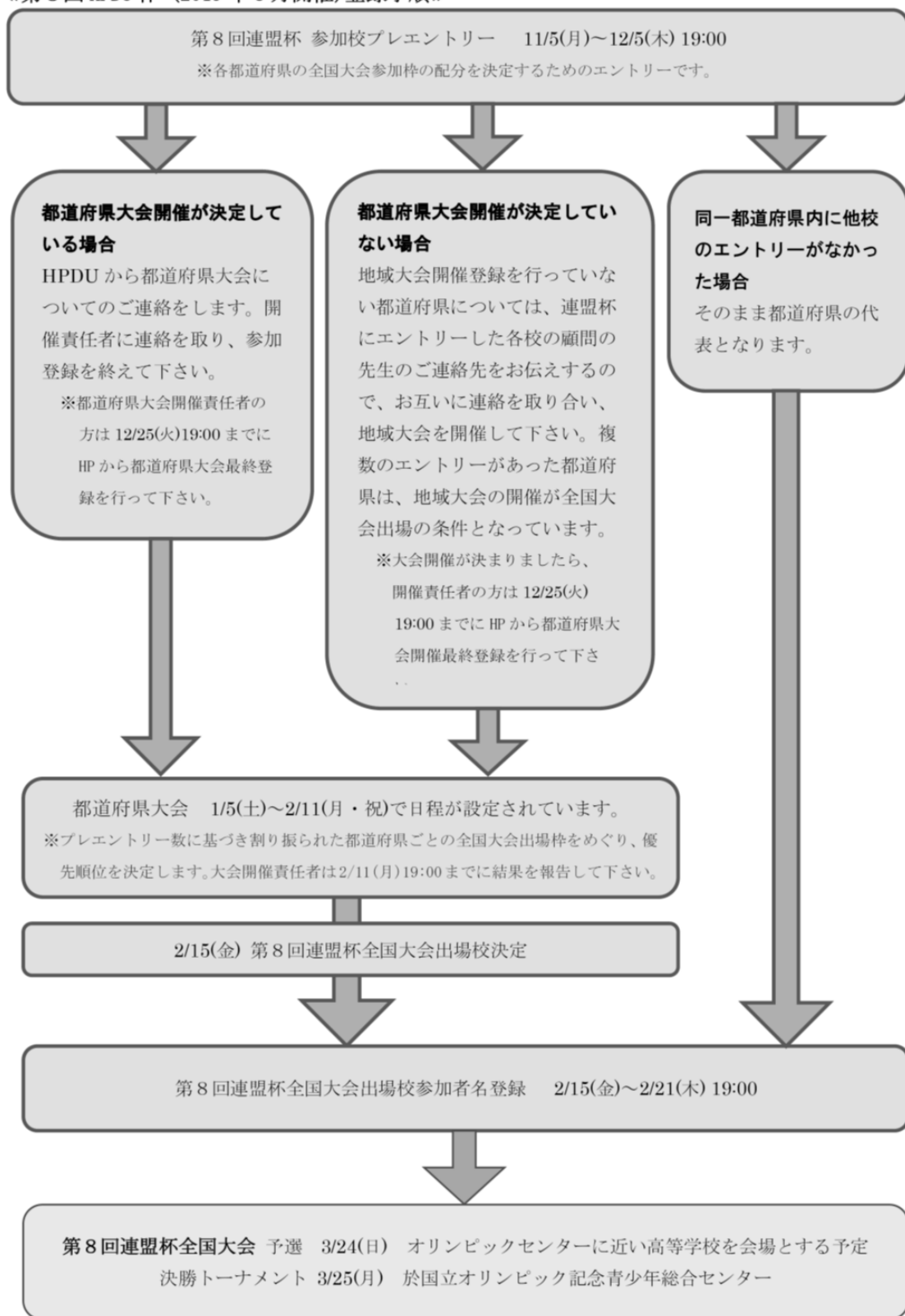


C.S.さん(27歳)

他にも数多くの体験談を掲載しています。詳しくはiae留学ネットのウェブサイトで!

◆ 第8回 HPDU 杯(2019年3月開催)の登録方法

《第8回 HPDU 杯 (2019年3月開催)登録手順》



■第 8 回連盟杯の参加登録についての補足

12月5日（木）19時までに上記の参加登録フォームに必要事項を記入し申し込んでください。この段階では選手登録の必要はありません。

11月10日（金）から17日（金）の間に、各都道府県大会についての案内をメールで送りますので、11月30日（木）19時までに申し込んでください。都道府県大会開催の予定がない県については同県内の HPDU 杯申し込み校同士で連絡を取り合って大会開催の計画を立て、開催責任者の方は12月1日（金）から17日（金）の間に「都道府県大会開催最終登録」を行ってください。県内の参加校が1校のみの場合は都道府県大会を開催しなくても HPDU 杯に参加できます。

各都道府県大会は12月16日（土）から2月18日（日）の間で設定されています。各大会の結果を受けて、2月23日（金）に第7回 HPDU 杯各都道府県代表校を発表します。代表校となった学校には、登録フォームをお知らせしますので、2月28日（水）19時までに選手登録を行ってください。

《都道府県大会開催のお願い》

本大会より都道府県大会参加が、この大会のエントリーの条件となりました。そのため各都道府県で HPDU 公認の大会を開催していただく必要があります。本連盟のホームページ上「都道府県大会開催について」内《連盟杯都道府県大会としての認定条件》の3をご覧くださいと、「HPDU 杯都道府県大会開催登録フォーム」がありますので、そちらから公認申請をして頂けますよう、お願い申し上げます。

[大会期間中の写真・動画撮影に関してのお願い]

- ・試合の撮影は、引率者および保護者の方にのみ許可いたします。ただし、他校の生徒を撮影する場合は、必ず本人及び引率者の許可を得て下さい。
- ・HPDUの記録担当が撮影したものに関しては、後日、HPDUのホームページ、後援・共催・協力団体への報告書、HPDUについての説明会や講演で使用する場合があります。ご了承ください。
- ・大会の様子は読売新聞が取材し、同社の媒体で紹介される予定です。写真撮影も行いますので、ご了承ください。

模擬 G7 Summit 2018 実施について

グローバル社会で活躍できる人材の育成を目的として発足した HPDU では、昨今の高校生たちの著しい成長を見て、大変喜びを感じる一方で、パラメンタリーディベートで身につけた力は必ず将来の役に立つということを、もっと高校生たちに伝えていきたいという思いを強くしてまいりました。

そこで、昨年度より、HPDU 初の試みとして模擬 G7 Summit（高校生による模擬 G7 サミット/日本ユニセフ協会に後援）を開催することにいたしました。当日は多くの高校生の参加があり、英語によるディスカッション等が行われました。昨年度のテーマは「若者の社会参画」、今年度は「女性の社会進出」で、活発な話し合いと発表が行われました。昨年、一昨年共に好評を博し、継続を望む多くの声がありましたので、それに応え、模擬 G7 Summit 2018 の実施を以下のように計画しております。

【内容】 その年の G7 で取り上げられた問題について、英語または日本語でディスカッションし、英語で発表する。

【日時】 平成 30 年 8 月 2 日（木）9:00～14:00 を予定

【場所】 都内某所を予定

【主催】 日本高校生パラメンタリーディベート連盟

【後援】 （公財）日本ユニセフ協会に申請を予定

【参考条件】 日本の高校に在籍する高校生であること。

【申し込み方法】 実施要項の完成版ができましたら、HP でお知らせいたします。

模擬 G7 サミット 2017 活動報告（HPDU ホームページより抜粋）

渋谷教育学園渋谷高等学校 2 年 三浦恭佳

8 月 3 日、渋谷教育学園渋谷中学高等学校に、地球社会が抱える問題解決に関して高い意識を持つ高校生 30 名が集まり、「ジェンダー平等」について考えました。参加校は、桜蔭高等学校、お茶の水女子大学附属高等学校、かえつ有明高等学校、頤栄女子学院高等学校、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、渋谷教育学園幕張中学高等学校、洗足学園高等学校、立命館高等学校、雙葉学園高等学校、広尾学園高等学校、本郷高等学校の 11 校でした。今回の企画、運営は渋谷教育学園渋谷高等学校 2 年鈴木玄、三浦恭佳、山中はるが行いました。

まず、2015 年にベルリンで開催された J7 ユースサミットに日本代表として参加したお二人にプレゼンテーションをしていただきました。質疑応答も活発に行われ、最後は皆に元気が出るアドバイスもいただけて、とても有意義な時間となりました。その後、私たち運営の 3 人が、パワーポイントを使いながら「男女平等」とは何であるのか、その国内及び国際社会における現状と問題点についてのプレゼンテーションを行いました。

次はグループ内ディスカッションです。多面から考えてもらうために、様々な問いかけを資料に組み込みました。日本におけるジェンダー平等の実現の難しさをより意識してもらった後、「日本国内で男女平等を実現するためにできること」について各グループでアイデアを出し合い、政策を打ち出してもらいました。

最後は、英語によるポスタープレゼンテーションで各自の政策を発表していただきました。一般的に日本人は男女の役割の違いを幼い頃からメディアによって植え付けられている現状があるとして、メディアが変わっていく必要性について言及するグループが多かったです。

終了後、「関心が高まった」「また参加したい。」などの感想をいただき、とても嬉しかったです。



学校長 様
英語ディベート担当教員 様

日本高校生パラメンタリーディベート連盟

第7回 HPDU 新緑杯高校生パラメンタリーディベート大会要項 HPDU Spring Greenery Competition 2018

- 1 大会名 第7回 HPDU 新緑杯高校生英語パラメンタリーディベート大会
- 2 主催 一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟 (HPDU of Japan)
- 3 後援 公益財団法人 日本英語検定協会 (Eiken Foundation of Japan)
一般社団法人 日本英語交流連盟 (ESUJ: The English-Speaking Union of Japan)
- 4 主旨 (1) パラメンタリーディベートを通して高校生の総合的英語運用能力を伸ばす。
(2) 新人ディベーターの育成とパラメンタリーディベートの普及。
(3) 様々な社会問題に興味関心を持つ態度を養う。
(4) 参加高校生の交流。
(5) 高校教員のジャッジ養成。
- 5 日時 平成30年6月10日(日) 8:30~17:00
- 6 場所 さいたま市立浦和高等学校
〒330-0073 埼玉県さいたま市浦和区元町1-28-17
Tel: 048-886-2151 Fax: 048-883-2029
- 7 試合形式 (1) 試合: ノースアメリカンスタイル (7分、7分、7分、7分、4分、4分)
1チーム3名、3試合(2・3試合はパワーペアリング)、準備時間は20分とする。
(2) 得点ポイントの高かったチーム、経験者ディベーター、新人ディベーターを表彰。
(3) 新人ディベーター育成の目的としたポイント制スコアシートを使用。
- 8 参加資格 (1) チームの登録人数は5人まで。試合ごとのチーム内の交代は自由。
ただし、試合ごとチーム内には必ず新人ディベーターが1人は含まれていること。
新人ディベーターとは、パラメンタリーディベート経験がおおよそ10ヵ月未満の生徒を指します。(3年生のみのチームはご遠慮ください。)
(2) 日本の高等学校在学者または、高等専門学校3年までに在学の生徒。
(3) 英語のネイティブスピーカーは不可。
(4) 以下の海外生活経験等に該当する者は、各試合に参加できるのは1名までとする。
 - ・英語を第1言語とする国で12ヵ月以上滞在経験のある生徒。
 - ・英語を第2言語とする国の出身である生徒。
 - ・家庭で常用的に英語を使っている生徒。
- 9 日程 8:30~ 8:45 受付
8:45~ 9:15 開会式
9:15~ 9:25 第1試合 対戦表、論題発表
9:25~ 9:45 準備(20分間)
9:45~10:45 試合
11:10~11:20 第2試合 対戦表、論題発表

11:20～11:40	準備(20分間)
11:40～12:40	試合
12:40～13:15	昼食
13:15～13:25	第3試合 対戦表、論題発表
13:25～13:45	準備(20分間)
13:45～14:45	試合
15:10～15:20	第4試合 対戦表、論題発表
15:20～15:40	準備(20分間)
15:40～16:40	試合
16:40～17:00	表彰・閉会式

10 参加費 1チームにつき2,000円(当日集金)、見学者は無料。

- 11 その他(1)ディベーターはストップウォッチかタイマーを持参してください。携帯電話をストップウォッチの代わりに用いることはできません。
- (2)電子辞書以外の電子機器(インターネット接続機能を持ったタブレットなど)を準備時間内、そして試合中に用いることはできません。
- (3)試合のビデオ撮影と写真撮影は、引率者及び保護者の方にのみ許可します。ただし、他校の生徒を撮影する場合は必ず相手校の許可を得てください。
- (4)参加校の先生方にもジャッジとして参加していただきたいと考えています。1校につき1名のジャッジの派遣をよろしくお願いします。

12 申 込

HPDUのウェブサイト(<https://www.hpdu.jp/>)から、Google新緑杯参加登録フォームにアクセスして、参加申込みをお願いします。

*申込受付の開始につきましては、サイトをご覧ください。

- ※1チームにつき1つのフォームを送信してください。Debaterは3人以上5名まで登録することができます。
- ※各学校から参加申込チーム数は最大で2チームまで。ただしチーム数が会場予定数を超えた場合、2チームを希望している学校から、過去の大会参加状況を考慮しチーム数の調整をする場合があります。
- ※他校の生徒とのジョイントチームも可能です。大会申込時にお知らせください。
(例)学校名・チーム名を「伊奈・市立浦和 joint」等にして申込ください。
- ※参加校につき1名のジャッジ派遣の協力をよろしくお願いします。

参加申込締切 平成30年5月31日(木) 午後10時まで

- 13 問合せ先 さいたま市立浦和高等学校 浜野 清澄
携帯: 090-1436-1541
e-mail: hamanokiyoзумi@gmail.com

HPDU 杯都道府県大会

推奨論題リスト

THW allow gifted students to skip grades in schools.
THW stop teaching English in elementary schools.
THBT teachers' salaries should be based on students' academic performance.
THBT schools should ban animal dissection.
THBT it is better for high school students to have a part-time job.
THW introduce a fat tax on junk foods.
THW ban tobacco.
THW ban cosmetic surgery.
THW ban children from becoming professional models.
THBT watching movies at home is better than watching movies at the theater.
THBT television does more harm than good.
THW ban violent video games.
THW ban combat sports.
THBT the use of animals for public entertainment should be banned.
THW make voting compulsory.
THBT the prime minister of Japan should be directly elected by citizens' vote.
THW abolish the House of Councilors.
THW introduce mandatory retirement age for politicians.
THW set quotas for women in the Diet.
THW require all Internet users to use their real names.
THW restrict advertising aimed at children.
THBT criminals trials should be broadcasted on TV.
THW abolish death penalty.
THBT torture is justified for national security.
THBT all violent juvenile offenders should be treated as adults in the criminal justice system.
THBT governments should never pay ransom to save hostage.
THW introduce conscription.
THW legalize active euthanasia.
THW legalize selling organs.
THW ban abortion.
THW abolish zoos.
THW ban whaling.
THW legalize genetically modified foods.
THW ban animal experiments.
THBT Japan should introduce the carbon tax.
THBT Japan should stop using nuclear power plants.
THBT Japan should remove import restrictions on farm products.
THW raise the consumption tax.
THW set a maximum limit on salaries.
THW stop sending humans into space.
THBT Japan should make English the second official language.

■ 新緑杯のディベート形式 (North American Style の細部を変更したもの)

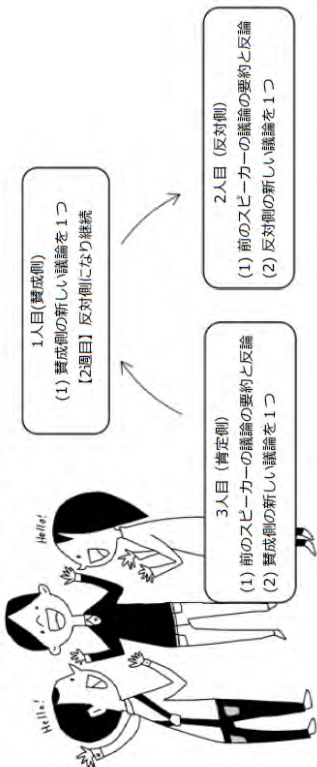
Reply Speech という両チームのスピーチ内容を比較して、どうして自分たちのチームの方がより優れていたのか、勝敗の理由を説明するスピーチを含んだ形式です：

【話す順番と役割】

Government Side	Opposition Side
準備時間（論題発表から試合開始まで 15～20 分間）	
<div>(1) Prime Minister (PM)</div> <ul style="list-style-type: none"> • New Argument 1～2 つ程度 	<div>(2) Leader of the Opposition (LO)</div> <ul style="list-style-type: none"> • Refutation • New Argument 1～2 つ程度
<div>(3) Member of the Government (MG)</div> <ul style="list-style-type: none"> • Refutation • Reconstruction • New Argument 1 つ程度 	<div>(4) Member of the Opposition (MO)</div> <ul style="list-style-type: none"> • Refutation • Reconstruction • New Argument 1 つ程度
<div>(6) Government Reply</div> <ul style="list-style-type: none"> • Refutation (MO の出した議論だけ) • Issue について両チームの比較 	<div>(5) Opposition Reply</div> <ul style="list-style-type: none"> • Issue について両チームの比較
<ul style="list-style-type: none"> • スピーチ時間は、(1)～(4)までは 5～7 分の間に終わります。(5)と(6)だけ 3～4 分間以内。 • 早くスピーチを終えた場合、持ち時間の経過を待たず次のスピーカーに移ります。 • Point of Information は、(1)～(4)まで最初と最後の 1 分間以外可能。Reply では不可。 • 準備時間は、論題が提示されてから 15 分～20 分間の間。 • 論題は、そのまま試合の出来る具体的なものを用います。 • Reply Speech を行う順番は、Opposition からです。また、Reply Speech は 3 人目が行うか、それぞれのチームで、1 人目と 2 人目のスピーカーのどちらが行っても構いません。 	

◆【参考】初心者の人にお勧めの練習活動「Summary & Refute」

Summary & Refute という国際基督教大学の英語ディベート部で考案された練習方法を紹介します。以下の手順を読み、次のページの表現集を使って練習してみてください。最初は手順になれるために、日本語でやってみてください。



【手順】

- ① 3人のグループを作り、論点を1つ選びます。
- ② 誰か1人を起点に、時計回りに賛成側、反対側を交互に割り振ります。
- ③ 準備時間は与えず、すぐスピーチを始めます。賛成側の1人目が、論点を肯定する議論を1つ出します。(相手の話をちゃんと聞いて、手際よく反論をすることが練習の主目的なので、説明の不十分な議論で構いません。むしろ、あからさまにおかしい議論を出して相手が反論をしやすいようにした方がテンボも良く盛り上がります)
- ④ 反対側の1人目が前の人の議論をまず要約し、次に反論します。そして否定側の議論を1つ出します。
- ⑤ 賛成側の2人目が、反対側1人目の新しい議論だけを(1人目への反論は要約する必要はありません)要約し、反論します。そして、肯定側の新しい議論を1つ出します。
- ⑥ 1順目が終わった場合、賛成側と反対側の立場が自動的に変わります。つまりは賛成側であった者が、反対側になります。2順目が終わるまで続けます。(1番初めにスピーチをした人が、直前の人の反論をして終わりです)

★Summary & Refute は、3人いればいつでもどこでも可能な練習です。すきま時間を見つけて、出来るだけたくさんやってください。

- 練習記録メモ -

Summary & Refute 表現集

◆ First speaker (On the Affirmative) / 1人目の人 (肯定側)

Greeting	Hello everyone.
Motion	The motion before us today is ~ , I strongly support this motion.
Signposting	My argument is ~ (議論の見出しとなる名詞句).
Argument	(出来るだけ簡潔に肯定側の議論を説明します)
Closing	Therefore, I beg to propose. Thank you.

◆ Second speaker (On the Negative) / 2人目の人 (否定側)

Summary	The previous speaker said that ~ (直前のスピーカーの議論の要約).
Refutation	However, this is [not true (doubtful) / not always true / not important / not relevant] because ~ Therefore, his (her) argument does not stand.
Signposting	Let me move on to my argument.
Argument	My argument is ~ (議論の見出しとなる名詞句). (出来るだけ簡潔に否定側の議論を説明します)
Closing	Therefore, I beg to oppose. Thank you.

◆ Third speaker (On the Affirmative) / 3人目の人 (肯定側)

Summary	The previous speaker said that ~ (直前のスピーカーの議論の要約). 注) 直前のスピーカーの出した新しい議論だけ要約します。直前のスピーカーの行った反論に対しては何も触れません。
Refutation	However, this is [not true (doubtful) / not always true / not important / not relevant] because ~ Therefore, his (her) argument does not stand.
Signposting	Let me move on to my argument.
Argument	My argument is ~ (議論の見出しとなる名詞句). (出来るだけ簡潔に肯定側の議論を説明します)
Closing	Therefore, I beg to propose. Thank you.

◆ Point of Information について

パラメンタリーディベートでの質問は、Point of Information と呼ばれます(POI、ピーオーアイまたはポイと略称します)。POI の手順は以下の通りです：

- 1) 質問をしたい人はまず席から立ち「Point」と言って、質問をする許可を求めます。
- 2) スピーチをしている人は、「Yes, Please」と言って許可をするか、「No thank you」または「Later, please (あとで)」と言って断ってください。
- 3) POI では、質問は 15 秒以内に終えないといけません。
- 4) POI に対して、もちろん答えることがスピーカーには期待されます。
- 5) 一回断られたら、15 秒～30 秒ぐらい間を置いてから再び試みて下さい。

以下にまとめられたように POI は単なる質問ではなく相手の議論の弱点を指摘するものです。

■ POI で指摘するべきポイント

- ◇ 因果関係の飛躍を指摘する。
 - ・ You said A leads to B. However, is that just your imagination?
- ◇ 根拠のないただの意見を指摘する。
 - ・ You said ～, but that is just your opinion.
- ◇ 反証を述べる。
 - ・ You said ～, but <反証となる例>. What do you think?

■ POI 用表現集

- ◇ POI を求める
 - ・ Point of information! / Point!
- ◇ POI を受ける・断る
 - ・ Yes, please / Go ahead
 - ・ No thank you / Please take your seat / Later please / I will take your point later.
- ◇ POI の内容に対応する
 - ・ Thank you for your point, but it is not [relevant / true / important] because ～
 - ・ However, what you have said is not [relevant / true / important] because ～
 - ・ Thank you for your question. That's exactly what I am going to tell you now.
 - ・ So, let me go back to my speech. (POI の内容から元のスピーチ内容に戻るときの表現)
 - ・ I will explain it later in my speech. (何と言い返したらよいかわからなかったら、とりあえずこう言って流して下さい。残念ですが、沈黙してしまうよりはましです)



[大会中の写真・動画撮影に関してのお願い]

- ・試合の撮影は、引率者および保護者の方のみ許可いたします。ただし、他校の生徒を撮影する場合は、必ず本人及び引率者の許可を得て下さい。
- ・HPDUの記録担当が撮影したものに関しては、後日、HPDUのホームページ、後援・共催・協力団体への報告書、HPDUについての説明会や講演で使用することがあります。ご了承ください。
- ・大会の様子は読売新聞が取材し、同社の媒体で紹介される予定です。写真撮影も行いますので、ご了承ください。



HPDU OF JAPAN

一般社団法人

日本高校生パラメンタリーディベート連盟

<https://www.hpdu.jp/>

<https://www.facebook.com/hpdujpn/>

https://twitter.com/hpdu_debate [大会の速報・告知用]